

こんにちは！



福島高校



魅力ある 福島高校の 取り組み

～自ら学び
表現力ある
福高生～

今年の樹祭の様子です

今年も樹祭が開催されます

わたしが
レポートします。



福島高校2年生
生徒会長
ひらお まさや
平尾 真也さん

このたび、新生徒会長に就任しました、福島高等学校2年の平尾真也です。私は、バレーボール部と放送部に所属しており、バレーボール部は、今年度新しく創部され、顧問の樋渡先生、副顧問の村上先生のご指導のもと「皆から応援されるチーム」を目指して日々の練習に取り組んでいます。放送部は、コンテストに出場したり、学校行事の際の機材準備、アナウンスなど、学校行事の運営に関わっています。

私は福高で、「生徒の声が学校に反映される生徒主体の学校づくり」を目指しています。福高生は、あいつが良く、素直なところが長所です。昨年の樹祭では、その長所を生かし、素晴らしい樹祭を完成させることができました。だから私は、福高が今より生徒の声が反映されるようになれば、例年よりも良い樹祭、学校行事を作れると思います。さらに、学力にも目を向け、生徒全員の意識を高め、それぞれの志望大学や専門学校、就職先に進学、就職できるように学習面への工夫もしていきたいと思っています。まだまだ実力が及ばないこともありますが、福高の発展のために全力を尽くしたいと思います。

梅雨も明け、せみの声もあちらこちらで聞こえるようになり、夏がやってきましたね。福高の夏と言えば、「樹祭」です。今年も福高に樹祭がやってきます。

樹祭は、体育の部と文化の部に分かれており、それぞれにたくさんのドラマが詰まっています。体育の部では、各団の応援や団長、副団長、リーダーによる演舞、選手の思いをつなぐ団対抗リレーなど、白熱した戦いが見所です！文化の部では、クラス一致団結で作上げる劇や映画、各文化部の発表に、観客全員が目を奪われます。

今年度の樹祭は、体育の部が9月3日(土)、雨天時9月4日(日)、文化の部は9月7日(水)・8日(木)の二日間わたって開催されます。皆さんぜひお越しください！



健康マメちぎ

Health Knowledge



著：串間市民病院 泌尿器科
永田 豊春 Toyoharu Nagata

前立腺がん検診のススメ

去年の4月から串間市民病院に勤務させていただき早くも1年が過ぎました。この健康マメちぎも2回目になります。今回は前立腺がんの話をごん検診と関連付けて書きたいと思えます。

対策型検診と任意型検診

日本人の死因の第1位は悪性新生物です。がん検診はこのがんの早期発見のために行うものです。がん検診は大きく対策型と任意型の2種類に分けられます。対策型というのは国の補助があり、市町村が行うがん検診で、「胃がん」「肺がん」「大腸がん」と女性だけの「子宮がん」「乳がん」の5つがあります。任意型は自費で行う人間ドックなど、その他のがん検診になります。

がん検診とがんの罹患率

がんはいろいろなところでできますが対策型検診の5つは特に罹患率(病気になる割合)が高いがんです。女性のがんの上位5つが乳房、大腸、肺、胃、子宮で、全部対策型検診に含まれます。男性の上位5つは胃、前立腺、肺、大腸、肝臓になります。

ここで気になるのが男性2位の前立腺がんが対策型がん検診に含まれていないという事です。前立腺がんの検診はPS

Aという物質を血液から検査するだけでできるので、日本泌尿器科学会が国の対策型検診に含めるべきだと要望を出しています。しかし、厚生労働省では前立腺がんを対策型検診の対象とはしていません。対策型検診の対象となるには、その検診を行うことによる死亡率を減少させることが証明されていないといけません。厚生労働省ではPSAによる前立腺がん検診では、死亡率の減少がまだ明らかになっていないと判断されているようです。ただ自治体によっては前立腺がん検診に独自に補助を出しているところもあります。

前立腺がんの診断

ここから前立腺がんについて書きます。前立腺とは男性にしかない臓器で膀胱の下にあります。前立腺がん自体は無症状のため検診がないと早期発見はできません。放っておくと骨やリンパ節に転移することが多く、痛みなどの転移の症状が出て初めて診断されることもあります。前立腺がんは高齢者のがんで年齢が上がるほど多くなります。日本泌尿器科学会では50歳からのPSA検診を勧めています。PSA検診で陽性が出てもがんとは決まったわけではありません。検診では、がんの可能性があるというだけで前立腺がんの確定診断をするには泌尿器科を受診して前立腺生検という検査をしないといけません。ただし、この検査は侵

前立腺がんの治療

病期診断が終わったら病期に応じた治療を行います。前立腺がんの治療法には「内分泌療法」「手術」「放射線治療」「抗がん剤治療」の4つがあります。年齢や体力などを考えながらこれらの治療法を組み合わせて治療していきます。早期発見の場合は手術や放射線治療で完全に治せる可能性もあります。また、前立腺がんにはおとなしい進行の遅いがんもあり、場合によっては無治療で経過を見ていく場合もあります。

いずれにしても早期発見が大事ですので皆さまも一度PSAを調べてみましょう。もちろん他のがん検診も大切ですので皆さまぜひ受けてください。